



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.632 2022.2.9

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

北区が新年度予算案

コロナ禍でも

+82億円

+5.3%

過去最大の 予算規模



北区は8日、新年度（2022年度）予算案を発表しました。昨年度に引き続き、コロナ禍の下での予算編成となりましたが、特別区民税が約18億円（6・1%）増、特別区交付金が約69億円（14・1%）増など歳入で大幅な増額となり、一般会計の予算規模は前年度当初比82億円（5・3%）増で過去最大の約1622億円となりました。

これを受けて、前年度に緊急的な財源対策として休止した事業を再開するとともに、新たな事業として、SDGsの推進、北区ゼロカーボンシティ宣言を踏まえた取り組み、多様性社会の推進、生活困窮者への対策などを盛り込みました（主な事業は裏面で紹介）。一方、「本格化するまちづくりに対応」するとして、東十条、赤羽、十条、王子など駅周辺の開発事業を推進するほか、施設建設とまちづくり基金に約20億円、学校改築等基金に11億円余を新たに積み立てる計画です。新年度予算案は、22日から開会する区議会第1回定例会に提案され、6日間の予算特別委員会での審査等を通じて採決に付される予定です。（のの山けん）

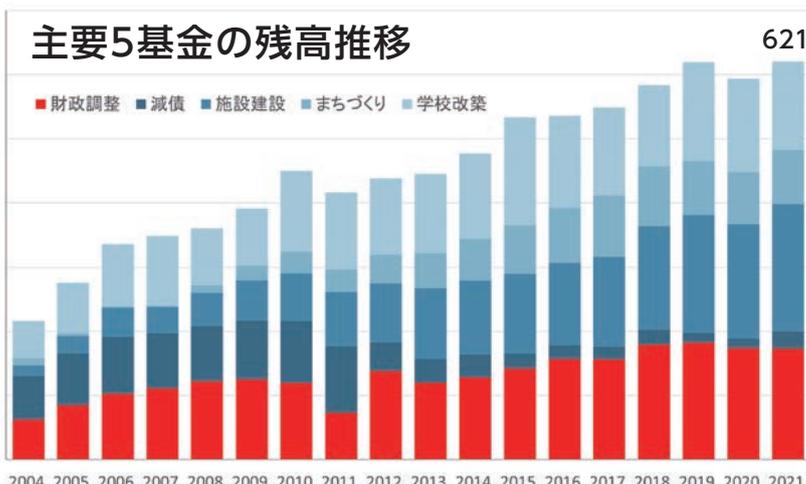
基金の積み立ても

過去最多 **621億円**

北区の基金（積立金）残高は、2019年度に約620億円まで達していましたが、今年度末の見込みはそれを上回る約621億円に。コロナ対策等に使える財政調整基金も、ほぼ横ばいの約173億円まで積み上がっています。（のの山けん）

億円

主要5基金の残高推移



予算計上された新年度の主な事業

8日に北区が発表した2022年度予算案の中から、主な新規事業を紹介します。(のの山けん)

福祉・医療施設へ特別給付金



介護・障害福祉・児童等の福祉サービス施設、医療機関などへ区独自の特別給付金を支給。感染症対策や従事職員への慰労金に充てられます。

庁舎使用電力への再エネ導入



2050年までにCO2排出量実質ゼロをめざす「北区ゼロカーボンシティ宣言」を受けて、区役所庁舎に再生可能エネルギーを導入します。

パートナーシップ宣誓制度開始



多様な性自認または性的指向をもつ2人が、互いを人生のパートナーとすることを北区として認める宣誓制度を、4月から開始します。

大規模水害への対応強化



大規模水害が発生した際に、避難行動要支援者の避難についてあらかじめ決めておく「個別避難計画」などを、10月をめどに策定します。

児童相談所等複合施設の整備



旧赤羽台東小学校跡地に、北区初となる児童相談所等複合施設を2026年度に開設することをめざし、基本設計・実施設計に着手します。

コミュニティバス新規路線導入



地域公共交通計画で具体化が図られてきたコミュニティバス新規路線。浮間地域ルートの実験運行が、いよいよ12月より開始となります。

北とぴあ・赤羽エコー広場館で
無料PCR検査

東京都が北とぴあと赤羽エコー広場館で、無料PCR検査を実施しています。詳しくは、右QRコードよりサイトにてご確認下さい。



川崎重工業 PCR 検査
サービスアクセスコード